

特別支援教育なう Vol.9

鹿本農業高等学校 モデルスクールの中間報告会 開催！

文部科学省のインクルーシブ教育システム構築モデル事業モデルスクールの研究指定を受けている鹿本農業高等学校において、平成26年11月20日（木）に中間報告会が実施され、合理的配慮についての取組説明と公開授業及び九州ルーテル学院大学の河田将一准教授による全体講話がありました。当日は、県立学校や山鹿市内の中学校から多くの先生方の参加があり、様々な意見交換が行われました。

河田准教授は、学校での取組の方向性を以下のようにまとめてくださいました。

支援の必要な児童生徒の支援に当たって

- 1 支援を検討する際は、「集団に対しての分かりやすい授業」「集団の中での個別支援」「抽出しての個別支援」のうち、どのタイプの支援が効果的か考えましょう。
- 2 支援の対象となる児童生徒の実態把握では、対象児童生徒の「特性の正確な把握」と「客観性」を大切にしましょう。
- 3 これまでの教育実践の活用(Action)から始まる「A-CAPDo サイクル」の運用を心懸けましょう。



*①A: Action1 → ②C: Check → ③A: Action2 → ④P: Plan → ⑤Do: Do → (②へ戻る)

今後、合理的配慮の実践事例の蓄積をさらに行い、次年度には最終的な研究成果として報告の予定です。

熊本かがやきの森支援学校



～新校舎完成!!～

本校は平成26年4月、重度・重複障がいの子どもたちのための特別支援学校として開校し、小学部、中学部、高等部の60人の児童生徒が学んでいます。

これまで熊本支援学校内で学習していましたが、このたび、待ちに待った校舎が完成し、12月1日から熊本市西区横手の新校舎での学習がスタートしました。安全・安心な教育環境の下、一人一人の生きる力を育み、持てる力を伸ばす教育をめざしています。これから地域の皆様にも愛され、親しまれる学校に育てていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

水深110cm、スロープ付きの室内温水プールです。



校外学習等さまざまな体験活動を行います。



得意な動きを生かしてスイッチを操作し、映像や音楽を楽しむ等一人一人の可能性を引き出します。

冷暖房完備なので1年中運動ができます。



ガラス張りの図書室。車椅子から降りて、くつろげるスペースもあります。



一人一人に合った教材を使い、ことばや数の学習も行います。



陽当たりのよい学部棟です。教室から車椅子のまま、外へ出ることができます。



幅4mの廊下です。日差しが入り、明るい廊下は車椅子同士ですれ違うことができます。

小上がリスペースのある教室です。床暖房もあります。



お問い合わせ

熊本かがやきの森支援学校

住所 熊本市西区横手5丁目16番28号

TEL 096-319-2000

FAX 096-319-2111

Mail kagayaki-s@pref.kumamoto.lg.jp

在宅訪問



くまもと江津湖療育医療センター(熊本市東区画図町重富)に入所している児童生徒が隣接の分教室で学習しています。

江津湖療育医療センター分教室

担任が自宅等を週2回訪問し、一人一人に合わせた授業を行います。

